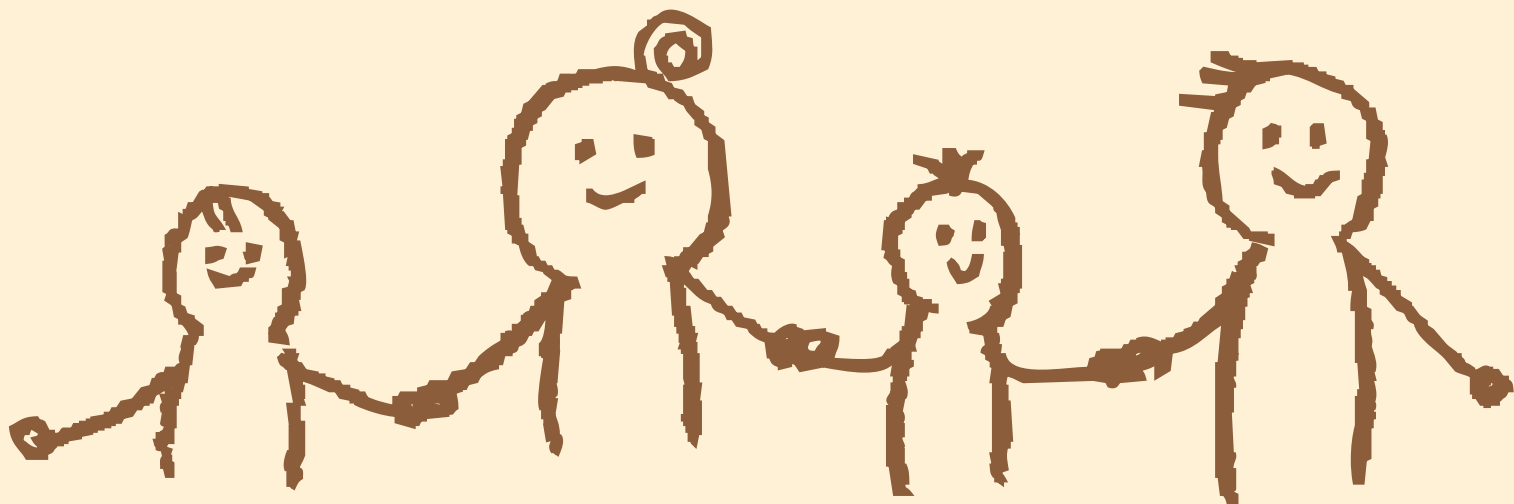


ピアサポーターって、 なにをする人ですか？



「ピア」は「仲間」という意味です。仲間の立場で助け合う人のことを“ピアサポーター”と呼んでいます。専門家がおこなう支援では得られない、同じ立場からの支え合いが注目されています。障がいを抱える人が孤立する原因のひとつに「支援とつながっていないこと」があります。しかし、支援者とつながっていても孤独感を持ち続けてしまう人がいます。その背景には「仲間がいないこと」があります。支援者は非常に頼りになりますが「仲間」になるのは難しいものです。

相談支援センターみなみうおぬまに所属しているピアサポーターは「支援者と当事者の橋渡し役」です。リラックスして本音を語れる雰囲気をつくり、悩みを伝えるサポートをします。

「安心して話せない…」
「うまく自分の気持ちを伝えられない…」など

こんな不安を抱えている方は、お気軽にご連絡ください。



(福)南魚沼福祉会
相談支援センターみなみうおぬま

お電話での
お問い合わせ 025-770-1331

FAX 025-770-0980

【受付時間】8:30~17:30 日祝定休日

メール soudanshien@minamiuonuma.or.jp

HP <http://minamiuonuma.or.jp/soudan/>

相談支援センターみなみうおぬま



949-6611

南魚沼市坂戸399-1(ふれ愛支援センター内)



私たちは、ピアサポーターです。

当事者だからわかること、理解できることがあるかも知れません。お気軽にご相談ください。

引きこもり、発達障がい

「相談支援センターみなみうおぬま」で週に一回、相談員をしています。このセンターは、銭淵公園の横にある建物の中にあります。
引きこもりの人や発達障がいの人たちと話す機会が多くあります。
講演で話をしたり、本を出したりもしています。



南雲 明彦

身体障がい

小さい頃から松葉づえ、車イスで移動していましたが、それでも普通学校に通っていました。
高校卒業後、職業訓練を受けて25歳からパソコン教室講師として働いています。
現在、みなみうおぬまで週1回、毎週火曜日にパソコンを教えています。



高橋 典夫

身体障がい

21歳のときにプール事故で車いす生活になりました。
今は「相談支援センターみなみうおぬま」で相談員をしています。毎月1回「いどばた会」という身体に障がいがある方々が気楽に集まれる会も行っています。
外出したり人と話す機会が少ない方やいろんな活動をされている方など沢山の方とお話ができればうれしいです。



高橋 義信

精神障がい

定期的に気軽な『語る会』を数名でやっています。病気のことや薬のこと、人づきあいのこと、仕事のことなど話し合っています。
『話すこと・聴くこと』を積み重ねた当事者の中には、講演会や出前講座で体験発表する人もいて、自分の体験を人のために役立てる活動をしています。

